



RED HAT DIRECTORY SERVER

ネットワーク上のあらゆるユーザ管理をレジストリに集約

Directory Server とは？

Red Hat Directory Serverとは、アプリケーションの設定、ユーザプロフィール、グループデータ、管理ポリシーおよびアクセス制御などの情報をネットワーク上のレジストリに集約させるLDAP準拠のディレクトリ・サービス・サーバです。

その役割とは？

Red Hat Directory Serverは、データの冗長性を排除しデータ保守を自動化することにより、ユーザ管理を簡素化します。そして、管理者が企業のシングル認証によりディレクトリにポリシーおよびアクセス制御情報を蓄えることでセキュリティを向上させます。

注目点は？

Red Hat Directory Serverは管理コストの削減、可用性、拡張性の向上に貢献します。またビジネスパートナー、サプライヤー、顧客等のデータ全体のアクセスを管理する情報制御が可能です。

概要

以前はNetscape Directory Serverとして知られるRed Hat Directory Serverはユーザ管理を簡素化するLDAP準拠のディレクトリ・サービス・サーバです。全ユーザ、アプリケーションそしてネットワーク情報のデータストアを提供することで、企業システム全体の管理を簡素化し、セキュリティを向上させます。

機能概要

- 各ユーザ情報を集約管理することで、管理コストを削減。
- 各ユーザ情報を基にしたアプリケーションやシステムのパーソナライズを実現。
- LANまたはWAN上でのデータの4wayマルチマスター複製により一貫性のあるデータソースを提供。
- シングルサインオンによるアクセスを実現。
- 外部アプリケーションの開発に必要な情報制御を含む事で大量のユーザ数にも対応する拡張性を提供。
- HP-UX(64ビット)、Solaris(32bit/64bit)を完全にサポート。

管理コストの削減

Red Hat Directory Serverにより管理者は、アプリケーションがユーザ情報、グループ、優先事項などの共有データを蓄積することのできるネットワーク上のレジストリを確立させることができます。

Directory Serverでは、アプリケーションは各ユーザのデスクトップ上の個別ファイルを読み込む代わりにディレクトリ内に情報を蓄積するため、ユーザのロケーションフリーを果たすことが可能です。これによりユーザは、事実上どのコンピュータからでも自分のデスクトップ同様に作業を行うことができます。またこれによりシステム管理者も、アプリケーションのサイズや数に関わらずユーザの情報およびプロフィールを一箇所で管理することが可能です。Directory Server では複数レベルの企業管理統制を割り当てることにより、完全なお客様の自己管理を実現します。

ディレクトリサービスの可用性を向上

Red Hat Directory Serverでは、4wayマルチマスター複製により高可用性を確実なものとし、マルチマスターサーバを配備することにより単一障害点としての書き込みを無効にし、シンプルネットワーク管理プロトコル(SNMP)は、柔軟なネットワーク監視を行います。

またRed Hat Directory Server では、ディレクトリがオンライン状態の間にバックアップ、設定変更、スキーマ更新、索引作業そしてデータ復旧を実行可能であるため、管理および保守のダウンタイムが最小限に抑えられます。

ビジネスパートナー、サプライヤー、顧客データのアクセスを管理

企業がオンラインによるビジネスパートナー、サプライヤー、顧客等のデータ活用を拡大するにつれ、アクセス管理は非常に困難かつ費用を要するものとなっています。

Directory Serverでは、大量のユーザ向けの外部アプリケーションの開発に必要な拡張性および情報制御を提供します。ユーザ、グループおよび複数アプリケーション間のアクセス制御を集約することで、Red Hat Directory Serverはシステム管理を劇的に簡素化します。また、Red Hat Certificate SystemなどのX.509v3パブリックキー認証ソリューションとの併用により、強力な証明書に基づく認証基盤となります。

RED HAT DIRECTORY SERVER

柔軟なデータストレージおよびバーチャルビュー

Red Hat Directory Serverは、ユーザプロフィールや優先事項を蓄積し情報の認証、アクセス権付与およびパーソナライズを行うことができます。これによりLDAP準拠のアプリケーションは、ユーザデータを読み込みパーソナライズされたウェブ環境のダイナミックな生成を行うことが可能です。スキーマ更新を通し、ダウンタイムもなくオンザフライでのデータ設定および拡張を行うこともできます。

バーチャルディレクトリインフォメーションツリーのビューではディレクトリの物理的な位置を変更することなく特定のアプリケーションや目的向けにカスタマイズしたDITの生成も可能です。バーチャルの属性検索では、ACLおよび通常の検索フィルタ内のバーチャル属性を利用することができます。

マルチマスター複製

4Wayマルチマスター複製は、ディレクトリに可用性とフェールオーバーをもたらす高レベルのパフォーマンスを提供します。そしてアーキテクチャおよびディレクトリの設計における柔軟性を向上させます。監視スクリプトおよびトラブルシューティング複製により、管理者の複製プロセスが簡素化されます。複数のディレクトリを同時に更新し、LANまたはWAN上の他のサーバに自動的に適応させることも可能です。

機能

- LDAPバージョン2および3の実装
- 関連するLDAPv2 およびRFC2251-2256、2829および2830を含むv3 RFCを実装
- LDAPv2およびv3の動作をサポート
- ブリアン操作を含むLDAP検索フィルタをサポート
- 他のディレクトリのクエリの参照も行うLDAPv3の照合機能

高性能なサーバ性能

- 百万単位のエントリー処理と数千のクエリ処理を秒単位で行います。
- 複数CPUによりリニアにスケールアップ
- 使用プロファイルに基づきパフォーマンスを最適させる柔軟な属性レベルインデックスを包含
- 64ビットHP-UXおよびSolarisに対応し大規模データベースに高レベルのパフォーマンスと拡張性を提供
- Netscape Directory Serverの前のリリースから書き込みパフォーマンスが向上。(最大50%)

柔軟なレプリケーション(複製)モデル

- LANまたはWAN全体の4wayマルチマスターレプリケーションをサポート
- ディレクトリのレプリケーションによりネットワーク費用の削減、レスポンスタイムの向上および単一障害点の排除を実現
- LDAPv3のレプリケーションを実装
- 連続レプリケーションをサポート(サーバAがサーバBを複製し、次にサーバBがサーバCを複製する場合)
- 属性のサブセットのレプリケーションをサポート(一部実施法)

高可用性

- 24時間x7日間の読み込みおよび書き込みが可能
- データ冗長性のためのレプリケーションをサポート
- トランザクションのデータストアを実装し、障害からのシームレスな回復を可能にします。
- バックアップ、スキーマの更新および設定変更などのほとんどの管理操作をリモートで行うことが可能。

高セキュリティ機能

- 属性レベルまで制御をかけることでディレクトリデータへのアクセスを制限
- ユーザの読みとり、書き込み、検索または操作権限を制御
- ユーザ識別、グループ属性、役割識別、IPアドレス、ドメイン名またはパターンごとのルールに基づきアクセス制御を実施
- 匿名またはユーザID/パスワードまたはX.509v3パブリックキーなどの認証方法によるアクセスを許可
- データのセキュリティポリシーが複製されるよう各入力に伴いアクセス制御リスト(ACL)情報を蓄積
- LDAP上でSSL (Secure Sockets Layer) およびTLS (Transport Layer Security) をサポートし、暗号化および認証サービスを提供
- SSL/TLS ハードウェア アクセラレーターPKCS #11をサポート
- 厳密なパスワードポリシー管理(サブツリーからユーザに至るまで)をサポートし、不正侵入から保護(再試行攻撃、ロックアウト) およびパスワード解読からの保護(最短/長、詳細確認、パスワード履歴)を行う
- 全属性に対し暗号化を設定可能
- 従来のケルベロス (Kerberos) による暗号化および認証に加えSASL暗号化およびGSS-SASL認証をサポート

強力な管理ツール

- ホスト、サーバおよびタスクレベルに関する管理上の権限委譲が可能
- 管理者はサーバパフォーマンスを監視し調節することが可能
- システム管理者のサーバ管理のために利用が簡単なGUIベースのJavaコンソールを提供
- IETFにより定義された標準メールおよびディレクトリ管理(MADMAN MIB)によるSNMPをサポート
- ウェブページからのXMLクエリを許可するDSML v2インターフェースをサポート

拡張可能なアーキテクチャ

- 種類別のサービスによりユーザルールおよびサービスに基づく様々な属性値を許可
- 開発者は、ディレクトリの操作をトリガーとするビジネスルールを書くことが可能
- 開発者は、ケルベロス (Kerberos) などの既存の認証サービスに反してユーザ認証を行うことが可能
- 国際文字セットのカスタマイズしたソートおよび照合を行う
- 差込可能なコンポーネントを有効化
- ダイナミックな拡張可能なスキーマをサポート
- Windows 2000アクティブディレクトリまたはWindows NT SAMレジストリとの双方向パスワードの同期をサポート

開発ツールおよびユティリティ

- パーシステントサーチ、サーバーサイドソーティングおよびバーチャルリストビューなどの信頼性の高いLDAP拡張子をサポート
- 開発者がC、Java、Javaスクリプト、XML、Perl およびその他のプログラミング言語を使用した信頼性の高いプラットフォーム上にLDAP対応のアプリケーションを作成することのできるRed Hat Directory Software Development Kit(SDK)を含みます

サポートされるプラットフォームとシステム要件

ハードウェア	構成	OS
HP	PA/RISC	HP-UX 11i (64bit)
Sun	SPARC	Solaris9 (32bit/64bit)
Intel	Pentium	Red Hat Enterprise Linux v.3/v.4 (32bit)

必要メモリ容量：最小256MB

必要ディスク容量：最小200MB